



教祖百四十年祭

教区・支部
情報ネット→



滋賀

8月号

天理教滋賀教務支庁

〒520-0807

大津市松本2丁目12番20号

TEL077-532-8054 (FAX 8047)

PCメールアドレス

sigakyouku@leto.eonet.ne.jp

布教活動に取り組もう

大津支部長 井上慶一



2017年の7月から翌年11月まで、広島県福山市にある部内教会の月次祭にはほぼ毎月参拝し、前後の何日か、にをいがけにまわりました。この教会の御目標様は、今私どもの教会でお預かりしております。後継する人がなく、事情教会になるのはわかっていたので、**「そうなる前にせめて少しでも布教をさせていたごう。動き出さなければ何も始まらない」という思いからでした。**

にをいがけ初日、最初に声を掛けた家で、「どこの天理さんや?」「わしは以前、九回おちびがえりしたんや。信者にはならんかった

けどな」と、気の強そうなご婦人さんはおっしゃいました。昔は布教が活発に行われていたんだなど改めて思うとともに、布教によって出来た教会が、布教がおろそかになると、元気がなくなっていくのは当たり前のことだと実感しました。あまり自分のことだと実感しませんでした。あまり自分に縁のない所で、短い時は一日だけでしたが、それでも続けていけば、それは大いに意味のあることだと実感しました。

京都にある同じ直属の教会の78才になる会長さんが、毎月京都駅前や三条京阪駅前で路傍講演をされているというのを知りました。その会長さんの教会は、先月神殿ふしんのお運びをされました。なるほど布教をしている教会は元気だなど、つくづく思います。

『稿本 天理教教祖伝逸話篇』の「一七一 宝の山」に、

教祖のお話、

「大きな河に、橋杭のない橋がある。その橋を渡って行けば、宝の山に上ぼって、結構なもの

を頂くことが出来る。けれども、途中まで行くと、橋杭がないから揺れる。そのために、中途からかえるから、宝を頂けぬ。けれども、そこを一生懸命で、落ちないように渡って行くと、宝の山がある。山の頂上に上ぼれば、結構なものを頂けるが、途中でけわしい所があると、そこからかえるから、宝が頂けないのやで。」

と、お聞かせ下された。

今年4月から6月まで、初めて修養科一期講師の御用を務めさせていただきました。修養科では大変明るく勇んでつとめさせていただき、ありがたい御用であったと心から思います。布教活動もまた、ありがたい御用であります。でも、そこに辿り着くまでの道のりは厳しく、「苦勞は楽しみの種」と言われる所以であると思えます。

教祖百四十年祭三年千日という旬の理に乗って、ともどもに勇んでつとめさせていただきます。

10月29日 第1回 ようぼく一斉活動日

滋賀教区の集い

■表統領のご挨拶

滋賀の強みを活かした
年祭活動を

表統領中田先生のご挨拶（東礼拝場にて）

滋賀教区の皆さん、今日はようこそおどばへお帰りくださいました。只今は、教祖百四十年祭に向かう三年千日の旬であります。日頃からそれぞれのお立場で熱心におつとめくださっておりますことを心よりお礼申し上げます。また、ことにありがとうございます。今日は、教区としておどば帰りをされるということで、一言ご挨拶をさせていただきます。

年祭活動の三年千日、今年も、もう半分終わりましたので、3年間のうち6分の1が過ぎたということになります。過ぎてしまうと半年は非常に早いものですね。これからの半年と言うと、今は暑い最中ですが、半年後には寒くなるわけですから、かなり長いようにも思うのですが、やはり同じように早く過ぎていくことだろうと思います。この限られた月日を、どういうふうに使わせていただるか。真柱様からご発布いただいている『諭達 第四号』を心の指針として、それぞれの立場で、どうやって教祖にお喜びいただくこと

ができるか。私たち一人ひとりが、どういうふうに関わることができるか。命の教祖を、忘れることのないように過ごすことができるか。これを毎日日々積み重ねさせていきたいと、このように思います。

これもご承知いただいていることと思いますが、この秋10月29日に「ようぼく一斉活動日」を設定いたしております。これは、この10月を第一回として、三年千日の間に合計5回、支部ごとに開催いたします。滋賀教区でも、支部ごとと一所に集まって、それぞれの活動を行っていただくわけですが、これは、その日の活動だけが目的なのではありません。

この三年千日に入るときに、真柱様から、この年祭活動は、全教が一歩一歩につとめさせていただきます。そのためには、一人でも多くのようぼくが、その趣旨を理解し、これに賛同して、そして年祭活動に参加する。参加する人が、一人でも多く増えることによって、全教一歩一歩に近づいていくんだ、という意味のお話をいただきました。

た。そこで、この「ようぼく一斉活動日」という場を活用して、そこに教会から声掛けをしていただき、それを吉祥に、何とか教祖の年祭活動に一歩でも二歩でもつとめてもらえるような、また、少しでも成人をしてもらえるような心を持っていただき、そういう日にしていただきたい、ということ。全国に呼びかけをしております。

教会のようぼく、信者さんは、必ずしもその地元に住んでおられるとはかぎりません。今回は、同じ日に、全国の支部で一斉に行いますので、インターネットで調べていただいて、住んでいる地域の会場へ足を運んでいただければありがたいということでもあります。そういう行事であるということ、よくご承知いただき、ご活用いただきたいと思っております。

何よりこれは、行事のための行事ではありません。三年千日を全教が一歩一歩に、そして一歩でも、ようぼくの前進につながるよう、成人につながるようという、その日一



おつとめをつとめる参加者（東礼拝場にて）

日だけではなく、やはり三年千日の日々が大事ですので、その点を中心に置いていただければありがたいと思います。

滋賀教区は、比較のおちばに近い教区と言えらると思ひます。おちば帰りをさせていただいて、親神様、教祖にお参りするという事は、教会長さんや布教所長さん、そういった方々は時々あると思ひます。また、それができる近さだと思ひます。しかし、ようぼくさん方にとつては、おちば帰りというのは、何かよほどの時でないとなかなか難しいということもあるかと思ひます。

この三年千日は、今申しました年祭活動だけではなく、その年祭活動が充実するように、度重ねておちば帰りをしていただきたいと思ひます。わが子が帰つてきてくれて、嬉しくない親はいないと思ひます。教祖にお喜びいただくという事は、そんなに大層なことばかりではなくて、ほんの少しのことを、いかに回数を増やすことができるか、これも一つのお喜び

いただける方法だと思ひます。それにはやはり、一泊も二泊もしなければ帰つてこれないような遠い所に比べれば、皆さん方は非常に良い条件の場所におられるということになります。是非そういったことも活かしていただければありがたいと思ひます。

もちろん滋賀県も広いので一概には言えませんが、例えば遠方の方に何かあつて、すぐに親神様、教祖にもたれてお願い申し上げたいけれども、本人はすぐにはおちばには帰れない、そういう場面がもしあるならば、「よし、すぐに私が代わりに飛んで帰ります」と、こういうことができるのが、近場の皆さん方の一つの強みだと思ひます。住んでいるとなかなか分らないと思ひますが、大きな視野で比較すれば、皆さん方のできることは更に広がると思ひます。

まだまだ旬は続きますので、どうかいちろとお考えいただきながら、この三年千日が充実するように、皆さんのお立場で、声掛けをしなが、また励まし合いなが



東礼拝場から東講堂へ移動

ら、厳しい中でもしっかりと歩んでいただければと思ひます。これからも勇んでおつとめくださるようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

ようぼく一斉活動日実施計画 第1回 10月29日開催分

支部	開催時間	会場	自主プログラムの内容 ※敬称略
大津	始 10:00 終 11:30	教務支庁	代表ようぼくによる感話「信仰体験・私と教祖」の後、ふり返りを行います。
江西	午前 始 9:30 終 11:30 午後 始 13:30 終 15:30	栗太分教会	テーマは「おつとめ」。講話を聞いた後、実際に練習を行います。午前と午後に2回開催。 講話講師 滋賀教区長 中西 吉次。
江南	始 9:30 終 12:00	甲龍分教会	元初まりのお話を、ようぼくに分かりやすくお話ししていただきます。 講話講師 西岡 洋（愛静大教会所属）
江南北	始 10:00 終 11:45	甲賀大教会	テーマ「お道の素晴らしさ」講話に続いて質疑応答を行います。 講話講師 中野大教会長 深谷 徳重
江東	始 13:30 終 16:00	湖東大教会	「諭達 ～年祭活動って?～」教祖と教友のつながりを深めます。「諭達かるた」で諭達の言葉に触れ、気付きと勇みを育みます。
江東南	始 10:00 終 11:30	蒲生大教会	対話を取り入れた講話を行います。 講話講師 蒲生大教会長 安井 昌角
湖北	始 9:30 終 11:30	浅井分教会	人のたすかりを願って、総立ちで十二下りてをどりをつとめます。
西湖	始 10:00 終 12:00	末廣分教会	「教祖を身近に」をテーマに講話ビデオ（伊都分教会 前会長 岩井喜市郎）を視聴し、ふり返りを行います。

教区よりの連絡

▽「滋賀教区の集い」開催報告

去る7月2日に開催いたしました「滋賀教区の集い」につきましては、透き通る晴天のご守護のもと、437名の参加を得て、賑やかに開催できましたこと、厚く御礼申し上げます。
当日の参加者集計と参加状況を下表にて報告いたします。

▽「ようぼく一斉活動日」について

・本番に向けて準備をお進めください

- 「ようぼく一斉活動日」について、7月に配布しました各種説明の内容をよくご確認いただき、準備をお進めください。次の書類については左記QRコードから再確認いただけます。
- 「参加カード」の取り扱いについて
- 「教会本部からのビデオメッセージ」ダウンロード（パスワード）について
- 開閉会挨拶参考資料について
- 直属教会50音順一覧
- 参加予想数の目安として
- 「教区・支部情報ねっと」投稿のための解説動画



・予備の「参加カード」と「諭達」

会場に置く予備の参加カードと諭達は、教区で用意します。（10月2日配布予定）

・垂れ幕等の印刷を承ります

各会場に必要な、垂れ幕や掲示の大幅印刷を承ります。事前に余裕をもってお申し出ください。

「滋賀教区の集い」 ■参加者集計表

割合(%)は教区全体に対する割合です

支部名	教会長	布教所長	ようぼく	少年会員	一般	計
大津	7 8%	1 4%	15 6%	10 14%	0	33 8%
江西	18 20%	5 18%	56 24%	14 19%	1	94 22%
江南	9 10%	0 0%	16 7%	0 0%	1	26 6%
江南北	9 10%	7 25%	32 14%	12 16%	2	62 14%
江東	11 12%	6 21%	29 12%	6 8%	1	53 12%
江東南	10 11%	2 7%	48 20%	14 19%	2	76 17%
湖北	12 13%	3 11%	16 7%	2 3%	2	35 8%
西湖	14 16%	4 14%	24 10%	16 22%	0	58 13%
計	90	28	236	74	9	437

■参加状況

割合(%)は支部全体に対する割合です

支部名	教会数	参加教会	教会参加率	教会長参加率
大津	27	7	26%	26%
江西	33	21	64%	55%
江南	24	11	46%	38%
江南北	26	13	50%	35%
江東	29	13	45%	38%
江東南	21	15	71%	48%
湖北	29	13	45%	41%
西湖	29	21	72%	48%
計	218	114	52%	41%

▽滋賀同宗連担当者変更のご報告

今般、滋賀同宗連の担当者が左記の通り変更になりました。

教団代表者 吉岡 孝之 (甲賀・近愛)

教団実務担当者 田代 忠昭 (水口・古城)

▽令和六年度 扶育願書用紙申し込みについて(再掲)

・願書郵送希望の方は、「高校用扶育願書用紙希望」或いは「大学用扶育願書用紙希望」と明記し、切手を同封の上、申し込んでください。

同封切手 高校用1部120円 大学用1部140円

○申込先 〒632-8679

天理市守目堂町213番地の4 おやさとやかた真南棟3階

一般財団法人 天理教一れつ会 扶育願書係

・願書受付 教区受付期間 10月1日～10月31日

布教部

▽全教一斉にをいがけデーについて

・実施計画書について(再掲)

実施計画書は、布教部ホームページ内の「実施計画書入力フォーム」から直接提出(締切8月25日)してください。支部内の取りまとめに実施計画書の用紙が必要な場合は、布教部ホームページからダウンロードしてご利用ください。

▽「にをいがけ勉強会」のご案内(再掲)

・日時 8月28日(月) 午前10時～午後3時 於・教務支庁

・講師 本布教部社会福祉課長 村田幸喜先生(満州眞勇分教会長)

※詳細は次ページの案内をご参照ください。

▽布教部例会日のお知らせ

・日時 8月27日(日) 午後3時 於・教務支庁

社友

▽「全国社友大会」開催案内(再掲)

・日時 9月25日 14時 於・天理市民会館

・対象 代表社友、支部社友、直属社友

・記念講演 国際文化センター所長 井上章一氏

▽「こどもおちばがえり委員会」

「こども横丁」設営ひのきしん出仕の報告とお礼

・青木委員長

・藤寄代表社友

6月13日から始まった「こども横丁」の設営ひのきしんには、6月に延べ94名、7月に延べ71名が出仕くださいました。誠にありがとうございました。

日別出仕者数			
6月	人	7月	人
13日	18	13日	14
14日	11	14日	14
16日	11	15日	13
17日	11	17日	6
18日	8	18日	7
19日	5	19日	4
23日	2	20日	3
24日	8	23日	3
25日	4	24日	7
27日	10		
28日	6		
合計	94	合計	71

支部別出仕者数		
支部	6月	7月
大津	9	4
江西	24	25
江南	4	1
江南北	22	18
江東	10	9
江東南	12	6
湖北	8	3
西湖	5	5
合計	94	71

▽本期間の宿舎(第9母屋)備品撤収(再掲)

・日時 8月7日(月) 午前8時 現地集合(前日宿泊可)

▽献血推進委員会

▽7月献血実績(6/21～7/20)

☆びわこ草津献血ルーム

江西	5名	江南北	3名
江東	3名	湖北	2名
県外	1名		
☆献血バス			
湖北	1名		
合計	10名	合計	12名
成分	400ml		
			3名

今月も、大勢のご協力、誠にありがとうございました。

引き続きのご協力を、よろしく願います。

▽「献血推進研修会」開催のご案内

・日時 9月2日(土) 教区役員会終了後

婦人会

▽婦人会庁舎清掃ひのきしん

・9月(8月30日) 大津支部 よろしく願います。

▽道の教職員の集い

▽夏の集い開催について

・日程 8月7日(月) 13時30分～8月8日(火) 12時
・研修会場 陽気ホール他 宿舎 高安詰所
・古池代表

・竹下委員長

・中西教区主任

8月28日(月)

にをいがけ勉強会

全教一斉にをいがけデーを目前に控え
教区の仲間と共に
にをいがけの実動を・・・



むらた こうき
講師：**村田 幸喜先生** (満州真勇分教会会長)
(本部布教部社会福祉課長)

会場：教務支庁

(大津市松本2丁目12番20号 ☎077-532-8054)

対象：教会長・布教所長・よふぼく

時間：9：30 受付

10：00 開会

15：00 閉会

内容：【午前】講話 【午後】にをいがけ実動とねりあい

参加御供：500円(昼食代含む)

申し込み：下記の参加申込書、もしくは右記のGoogleフォームにてお申し込みください。

申込〆切：8月20日



滋賀教区布教部

にをいがけ勉強会参加申込書 (申込〆切：8月20日)

ふりがな 氏名	性別	年齢	支部	所属	立場
	男・女				
	男・女				
	男・女				
	男・女				

各支部布教部までご提出ください。教区へFAXいただいても結構です(教務支庁 FAX 077-532-8047)



ニュース「滋賀教区の集い」



▲ 除草ひのきしんを終えて参加者は東講堂に集まった



▲ 中西教区長の挨拶(東講堂)



▲ こどもおぢがえりの「こども横丁」会場で除草ひのきしんに動しんだ

← 『天理時報』7月12日号より

「ようぼく」一斉活動日」に向け

滋賀教区

気温30度を超える真夏日となった2日、東講堂周辺では、滋賀教区(中西吉次教区長)の教友47人が除草ひのきしんを行った。

同教区は同日、「滋賀教区の集い」を親里で開催。これは、今秋から各支部で実施される「ようぼく」一斉活動日」が有意義なものになるよう、親里でのひのきしんを通じて、管内ようぼくの年祭活動に弾みをつけるもの。

当日は、本部神殿東礼拝場でおつとめを勤めた後、中田善亮表統領(ぜんりやう)があいさつした。

続いて、「こどもおぢがえり」期間中に同教区が担当する「こども横丁」の会場となる東講堂周辺へ。4年ぶりの「夏の祭典」を前に、教友たちが除草ひのきしんに励んだ。

中西教区長(57歳・本部直属琵琶分教会長)は「三年千日を歩むうえで、管内の教友たちの勇み心につなげることができたと思う」と話した。

下記QRコードより、活動の様子を視聴できます。
(前半は岩手教区の動画です)



KOG開幕！ こども横丁オープン



▲ 炎天下の中も帰参者で賑わうこども横丁 ▲



水鉄砲合戦

▲ やはり水鉄砲は大人気



こま

▲ こまが得意なのはオジサン？



▲ 定番の竹とんぼははずせません



カロム

▲ カロムはオモロイ！これ滋賀の常識



▲ 金魚すくいにくぎづけ

こども横丁 入場者数			
7月	27日	28日	29日
少年会員	1,014人 (1,045)	1,387人 (2,070)	2,094人 (2,673)
育成会員	641人 (664)	913人 (1,392)	1,904人 (1,067)
合計	1,655人 (1,709)	2,300人 (3,462)	3,998人 (3,740)

(カッコ内は立教182年同月同日の入場者数)

こどもおぢばがえりの屋外行事の中で、入場者数トップです！ (29日現在)

輝くようぼく

No.3

虎澤広美さん(53歳)
江西支部・大原部属
近滋分教会所属

今回、「輝くようぼく」としてご紹介するのは、
栗東市目川を拠点として活動されている、近櫻布教
所長の虎澤広美さんです。

広美さんは、実家が津市和邇の近滋分教会の近くにあり、信仰は祖父母の代から三代目になります。子どもの頃からお道の教えが大好きで、教会や教区の少年会活動、学生会活動にも積極的に参加されました。

その後、結婚して幸せに暮らしていましたが、教祖百二十年祭の頃に離婚。それからは子育てと仕事に追われる中、だんだんと月次祭にも行かなくなり、十年近く所属教会から遠ざかっていました。

ところが教祖百三十年祭の年祭活動に入る一年前、交通事故の事情を見せられます。当時は野洲に住んでいたのですが、近くにあった琵琶分教会に参拝していましたが、ますます事情が悪化する中、何とかたすかりたい一心で、琵琶の奥さんにいろいろと相談ののっていただきました。そして、会長さんから「親は絶対待っていてください。理の親のところへ帰るから、

さい」と言われたのです。

早速、所属教会に電話をして、その日の夜に教会へ参拝すると、「よう帰ってきたなあ、ずっと待ってたんやでえ」と会長さん夫妻に迎えてもらったことが本当に嬉しかったそうです。夜通し話し合い、以前から自宅に神実様を祀るようにならぬことを決意し、お祈りしました。すると、その翌日、どうにもならなかった事情が、百八十度ひっくり返って、鮮やかにご守護をいただいたそうです。

その一年後、今度は仕事で大きな事情を見せられました。会長さんと相談し、もうこれはおぼぼで伏せ込む以外たすかる道はない、ということと二度目の修養科を志願。すると一ヶ月目を終えた頃、この事情もまた鮮やかにご守護をいただいたのです。

その感激を胸に修養科を修了して帰ってきた広美さんは、ママ友

が入院して危篤状態だと聞きます。すぐにおたすけに掛かりました。一ヶ月後、残念ながら出直されました。激しく落ち込んだときに、「たとえ命がたすからなかったとしても、取り次いだおさづけの理はずつと生きています。その魂は必ずご守護いただいている」と聞いて、もつとおたすけさせてもらおうと思えたことが、その後のおたすけに拍車をかけることになりました。教祖百三十年祭の年祭活動二年目のことでした。

それから年祭までの二年間、広美さんは、所属の会長夫妻にたすけていただいたご恩に報いるため、何とかして親に喜んでもらいたいと、「仕事第二」から「神様一番」へと心を入れ替えておたすけに奔走。その結果、修養科生1名、初席者13名のご守護をいただき、年祭直前の1月20日には近櫻布教所を開設されました。

更に、年祭後には介護の仕事に転職しますが、その職場でも、熱心ににをいかけをして、現在の夫を含め、修養科生4名、初席者6名のご守護をいただいたのです。

そんな広美さんに、職場での布教活動は敬遠される

のでは、と尋ねると、「止められたら転職します。そこは、神様から私に与えられた職場じゃないから」ときっぱり。また、教祖百四十年祭に向かう今の気持ちを尋ねると、「中席で止まっている方の丹精を頑張りたい。また、教会で掲げておられる心定めに少しでも近づけるよう、そして、声をかけた方々に教会に繋がってもらって、教会を人で一杯にしたい。それが、親神様、教祖はもとより、会長さんご夫妻に喜んでもらえることだと思います」と笑顔で。さらには、「現在、夜勤の仕事をしているのは、日中におたすけができるから」とも。



布教所の神様の前で

どこまでも「親一条」「たすけ一条」の心で、ますます勇んで、にをいかけ、おたすけに励まれる広美さんです。

ようぼく一斉活動日

会場の場所や自主行事の内容は「教区・支部情報ねっと」をご確認ください。



・開催日

- 第1回 立教186年 10月29日(日)
 - 第2回 立教187年 6月1日(土)／6月2日(日)
 - 第3回 立教187年 11月3日(日)／11月4日(月)
 - 第4回 立教188年 5月31日(土)／6月1日(日)
 - 第5回 立教188年 11月1日(土)／11月2日(日)
- ※第2回以降は上記のどちらかの開催日となります

- ・参加御供 300円(中学生以下は不要です)
- ・プログラム 開会挨拶
おつとめ
諭達拝読 ※諭達をご持参ください
教会本部からのビデオメッセージ
会場ごとのプログラム
閉会挨拶

ようぼく一斉活動日は、同じ地域に住むようぼくが集い、思召に心を揃え、互いに勇ませ合って、ともに年祭活動の歩みを進める日です。ようぼくは、毎回参加しましょう。

7月 教区日誌

- ／2 滋賀教区の集い(東礼拝場および東講堂) 主事会、役員会、婦人会例会(旧別席場)
- ／6 現地研修会(啓発委員会・奈良坂周辺)
- ／11 教会探訪ルポ取材 滋賀分教会
- ／12 女子青年例会 10:00
- ／24 こども横丁設営ひのきしん最終日
- ／25 KOG第二回係主任連絡会(本部詰所) KOG宿舍備品搬入(9母屋)
- ／26 KOG決起のつどい(東礼拝場) 19:00
- ／27 こどもおちばがえり開幕(8月6日まで) こども横丁滋賀教区担当(29日まで)
- ／31 広報委員会 15:00

事情願書

▽任命願 移転建築願 遷座祭日願

- ・西江州分教会 [大原 西湖]
後任者 伊庭 卓弥
遷座祭8月27日 鎮座祭11月27日
就任奉告祭 11月28日
受理日 7月24日

■ 布教月報

天理教布教部が発行する行事案内誌。主に福祉課に関わる行事の詳しい案内が掲載されています。



8月 行事予定

- ／2 支部長連絡会
- ／4 こども横丁滋賀教区担当(6日まで)
- ／6 こどもおちばがえり閉幕 KOG感謝のつどい(東礼拝場) 18:45
- ／7 KOG宿舍備品撤収(9母屋)
- ／25 教区長会議(38母屋) 16:00
- ／27 少年会例会 10:00 布教部例会 15:00
- ／28 にをいがけ勉強会(布教部)
- ／30 庁舎清掃ひのきしん 大津支部 10:30 広報委員会 14:00

- ◇ 閉庁日 14日 23日 25日 26日 夏季休暇 15日～17日
- ◇ 閉庁時間 午後5時(4月～9月) (連絡先 ☎ 080-8341-1563 鈴木)

法人関係

▽登録事項変更申請書

- ・雲井分教会 [河原町 江南]
受理日 7月31日

訃報

- ・中西 忠子 氏 [琵琶 江東]
79歳 朗勇分教会会長夫人
7月3日 出直されました

□ 啓発委員会

現地研修会開催

7月6日、18名の参加を得て、啓発委員会(橋本昭夫委員長)は、本年度の現地研修会を開催しました。

今回は、京都方面から奈良へ入る奈良坂周辺を、天理大学非常勤講師・奥本武裕先生の案内でフィールドワークを行いました。現存する日本最古のハンセン病療養施設「北山十八間戸」を中心に、奈良少年院跡、般若寺を見学。午後からは、櫛本分署跡、助造事件の助造宅跡を見学し、教祖の御足跡を偲ばせていただきました。



ハンセン病療養施設「北山十八間戸」の前で